



▲いやし課の業務に励むりりこと入居者様

癒いが
本業です!

アウルのひ・み・つ 第55回



ひな鳥の巣立ち

それは8月上旬のこと。職員が中庭の地面に野鳥の巣を見つけました。どこかから落ちてきたのか、中にはひながいて親鳥が一生懸命餌を運び続けています。どうやらヒヨドリのようなようです。しばらくすると、ひなたちは桜の木の枝に居場所を移し、やがて巣立っていきました。

その間、約1週間。入居者様も職員も中庭で進行中の子育てを、感動の面持ちで見守りました。初めてアウルから巣立った鳥たちが、再訪してくれるとうれしいですね。

スタッフ リレーエッセー

笑顔測定器

以前、テレビ番組の特集で「笑顔度測定器」というものを見ました。カメラに笑顔を映すとセンサーが笑顔度を%で表すというもの。機械が割り出した自分の笑顔度を機に、好印象を与える表情を意識するようになったとテレビの中の人語っていました。



看護師 門間 絵美

自分にとって笑顔って何だろうと考えた時、私は幸せなことにたくさんの笑顔に包まれて過ごしていると改めて気づきました。ご入居者様方の笑顔、ともに働く仲間の笑顔、そして大切な家族の笑顔。何気ない会話、しぐさから自然にあふれる笑顔にいつも大きなパワーをいただいています。

私の笑顔も周りの皆様の小さな支えになれるよう、これからも日々精進していきます。

●介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)

アウルコート真駒内

〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3
TEL.011-588-1122 FAX.011-588-1133

入居相談受付中 ☎0120-916-768

- 交通機関
- 地下鉄南北線「真駒内」駅下車
 - じょうてつバス「真駒内駅前」停で真駒内線に乗り(約5分)「南町4丁目」停下車(徒歩約4分)

アウルコート真駒内 検索 <http://www.owlcourt.jp>



ふくろうの家 だより

その61
2022年11月

●発行/株式会社私の青い空
●編集/アウルコート真駒内広報室 〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3 ☎011-588-1122



敬老の日所感

代表取締役 武田 治信

秋は夜空に浮かぶ月が美しい季節です。今年の中秋の名月は、満月と同じ9月10日でした。秋の真ん中に、期待通り一年で一番きれいな月を眺め楽しむことが叶いました。

アウルコートでは、季節のイベントを大切にしています。専任のレクリエーション計画担当者を中心に企画し、敬老会、十五夜、オータムフェスタ、紅葉狩りドライブ、テイクアウトの日と秋は行事が目白押しです。「コロナの時代、アウルに居るからこそ仲間と楽しい時間を過ごす幸せを感じることが出来ます」という入居者様の声に励まされ、背中を押され、職員たちは毎回準備に余念がありません。

秋の行事でとりわけ心に残ったのは「敬老会」です。平成25年から続いている地域の保育園との交流は、コロナで今年も中止せざるを得ませ

んでしたが、届けられたビデオレターや手作りのプレゼントが会場に笑顔の輪を広げてくれました。子どもたちとお年寄りを想う優しさを育んでくださった先生と保護者の皆様に、紙面を借りて感謝の気持ちをお返しいたします。

また、今年は米寿と卒寿4名、百寿1名のお祝いもしました。数え年100歳の入居者様からは、「入居して14年目となり、大病もせず米寿・卒寿を経て百寿を迎えることができたのは、同じ屋根の下で一緒に過ごしてもらった皆様のお陰。終の棲家と決めたアウルの自然にあふれた環境や仲間との穏やかな暮らしが、自分の元気の素」と、お仲間や私たち職員に感謝の言葉をいただきました。大きな窓から月を楽しむことが長年の日課とのことで、ご長寿にあやかって私も取り入れてみようと思っています。

いくつかある共有スペースの中で、2階の多目的室はいつも誰かがいてほっとできる居間のような場所です。介助が必要な方は職員がお連れして楽しんでいただいています。



おやつと水分補給

昼下がりには、おいしいおやつとともに水分を補給。不足気味の方には職員が積極的に声かけをして、自然と飲み物を楽めるような機会をつくっています。



多目的室でおしゃべり

お仲間と、職員と、日々かわす何気ないおしゃべりは健康的な暮らしの土台。話して聞いてたくさん笑うことが、今日の満足感と明日への活力の源になっています。



体を動かすボール体操

皆さんとの共有時間を活用し、ボールを使って一緒に軽く体操。お仲間といつでも楽しみながら運動できるのは、ひとつ屋根の下でともに暮らしているからこそです。

百寿の大先輩は、齢を重ねるお手本
敬老会で長寿の喜びも新たに



手作りのお祝い

毎年恒例の敬老会を9月15日(木)に行いました。入居者様が最も楽しみにされている地域の認可保育所「遊・Wing」の子どもたちとの交流は、コロナ禍でビデオレターと手作りのプレゼントをいただくのが一昨年来の交流スタイル。今年のプ



お返しは紅白饅頭

アウルで3人目となった百寿の入居者様は、ともに暮らすお仲間と職員への感謝の気持ちとして、お祝い返しをご自身で計画。当日は事前に用意された紅白饅頭が全員に配られました。お返しがしたいとの相談を受けた際、職員一同は入居者様が語られた「アウル愛」に感動



しました。同時に、ご自身の判断と行動で意志を通すかくしゃくとした姿に、憧憬の念を抱きました。後

の方々にはアウルコートのマーク入り膝掛けが贈られました。

に続く90代の方々も「かくありたい」と、お手本となる目標を得たご様子。百寿のお祝いは、長寿の素晴らしさを改めて実感する良い機会となりました。

レゼントは、子どもたちの似顔絵が付いた手作り写真立てでした。お祝いに目を丸くしたり、映像に見入る入居者様の様子はビデオレターとして撮影し、アウルから子どもたちへの返信としました。今年の長寿祝い

は、米寿2名、卒寿2名、百寿1名。アウルとともに入居者様も年月を重ねられ、ご高齢での節目に喜びが一層募ります。5名